

恵那市中央図書館の岩村分館が13日、同市岩村町の旧岩村振興事務所1階に開館した。モダンな雰囲気でごしやすい館内では、岩村藩ゆかりの偉人たちを学べる郷土資料が充実。恵南地域の新たな学びの拠点として活用が期待される。(稲木悠司)

新たに開館した恵那市中央図書館の岩村分館。同市岩村町



岩村分館が開館 充実の郷土資料

恵那市中央図書館、新たな学びの場

佐藤一斎ら ゆかりの偉人紹介に力

市によると、岩村分館は延べ床面積約347平方メートル。蔵書は約8千冊。「静かな図書館から交流の図書館へ」を特徴の一つに挙げている。ソファからカウンターまで利用者に合わせた44の閲覧席を用意し、カフェマシンも置いた。事業費は約758万円。

先人の紹介に力を入れ、郷土資料室では岩村藩出身の儒学者佐藤一斎(1772〜1859年)、女子教育の先駆者下田歌子(1854〜1936年)らの関連書籍を読みやすくまとめ、パネルも並べた。

同日、開館記念式典が開かれ、古屋圭司衆院議員、水野正敏県議らが地元の中学生とテープカットを行った。書架など2800万円相当の備品を寄贈したバローの田代正美会長には、市から感謝状が贈られた。

小坂喬峰市長は「歴史と文化にあふれた岩村町に新しい魅力ができた。図書館を核としてこれからのまちづくりに取り組む」とあいさつした。

開館時間は平日午前9時〜午後7時。土日祝日は同5時まで。休館日は毎週月曜日。